

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 5月 7日

事業所名 りんくるプレパ 単位2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	1		日頃の活動においては適切であると思いますが、室内レクを開催する際は、手狭と感ずることもあります。その際は近隣の公園や公共施設等も活用した活動に応じた工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切である	3	2	1		日によっては児童人数の多い日や動きが活発な特性の児童対応に対して、もっと職員の手が必要と感ずることもあります。専門性を活かし全体を見て児童の動きが把握できるように質の向上を図っていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	0	2		施設自体が2階建てのため、階段昇降が困難な方は1階へ優先的にご案内するなどしながら配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	0	日々、振り返りを行いより良い支援につなげるよう努めています。	日々のミーティングに加え、適宜業務改善に向けての会議を通して、職員間の共通認識や方向性を確認し、より良い支援への意識づくりをすすめます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	0		ホームページにて公開し周知しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	0	外部評価があるのかを認識していません。	外部評価は自治体による(運営指導)のみになります。その他の外部評価が今後必要であれば検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	3	1	社内研修を行っています。外部研修はZoomなどオンラインを活用した研修参加を促しています。	・研修の開催内容アーカイブやシェア等を行い職員全体に周知する方法を検討していきます。 ・資格取得に向けた取り組みを検討していきます。
適切な支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3	1	契約時や、個別支援会議等に保護者様とお子様に関き取りしています。	全体に周知出来るように体制を整えていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	0	特に土曜日や学校休校日に行うSST活動テーマ等においては、いろいろなアイデアを出し合いながらプログラムの立案をしています。	日々の活動プログラムにおいては、5項目の中から児童自身で選択することにより、活動により集中して取り組める環境を整えています。チームでその活動の促しをすすめております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	0	パソコン活動において、スキル向上を目指しながら、タイピングやエクセル等、幅を広げて活動促しを行っています。	今後もマンネリ化を防ぎ、児童の興味を引き出す活動内容の工夫をしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	0		社会スキル向上を目指し、平日に中々体験できないことを、休日や長期休暇で活動内容に盛り込むなどの工夫をしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0	土曜日や長期休みの場合には、個別活動と集団を組み合わせた活動を行っています。	放課後等デイサービス計画に、個別活動と集団活動とを適宜組み合わせた内容を具体的に盛り込み、充実した支援を目指していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	0	毎朝、前日の振り返りや今日の支援についてミーティングを行っています。	支援内容や役割分担についてしっかり確認できる時間設定を意識して行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	0	支援終了後ではなく、翌日に前日の振り返りを行っています。	翌日には職員間で支援の振り返りを行い、共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0		正しく記録をとることで、日々の支援の検証・改善につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	個別支援会議を実施し、計画の見直しや必要性を検討しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	1	0	基本活動を組み合わせさせた支援に努めています。	
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	0	児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0	週の初め学校に電話にて下校時刻の変更点の確認や週間日程表の共有を行っています。また、行事の際の下校時刻の連絡等は保護者様と連携し、連絡を取り合っ確認しています。送迎トラブルの無いように情報共有を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	1	医療的ケア児童の受け入れがまだないため、判断が難しいが、アレルギー等の対応については職員全体に周知して対応できるように整えています。	てんかん発作やアレルギー反応等が起きた時の対応の流れを職員全体に周知できるようにフローチャートにして体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	1	対象児童がいません。	今後、対象児童が出た場合には、全体的に周知出来るように体制を整えていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	0	事例がありません。	今後、対象児童が出た場合には、全体的に周知出来るように体制を整えていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	0	研修があれば参加していきます。	専門性機関との連携、研修の周知方法を検討していきます。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	1	野外活動や事業所近くの公園遊びでは、地域の児童との交流があります。	今後は地域の子供たちとの交流の機会を増やせるように体制を整えていきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1	1	開催の機会に参加できるようにしていきたいです。	情報収集を行い、開催時に参加していきたいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	0	連絡ノートやLINEを通して保護者様へ日頃の様子や出来事を伝えていきます。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	1	外部のペアレント研修実施の案内共有や、電話にての相談は常時行っています。	今後は、保護者会等にてペアレント・トレーニングの機会を増やしていきたいです。
保護者への説明書	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	0	契約時に保護者様にしっかりと伝わるように丁寧に説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	0	LINE等を活用し、困った事があった際にはいつでもやり取りできる環境を整えています。	本年度は、日頃の電話での相談に加え、状況に合わせて、事業所への来所・家庭訪問等の機会をご活用いただき、相談援助を行っております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	1	今年度の保護者会は1回の開催であったが、中高生の移行児童の保護向けに合同説明会等も開催しています。	保護者会の開催内容アーカイブやシェア等を行い職員全体に周知する方法を工夫していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	迅速に対応ができるように、上司への報告・連絡・相談を適切に行うよう意識しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	会報等の発行はないがブログにて活動報告を行っています。	活動の様子をブログやLINEを通じて発信し情報共有を行っています。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	1		個人情報に十分注意して支援にあたっています。職員室が活動スペースと壁の隔たりがなくオープンスペースになっているため、大事な情報が児童の耳に届かないよう留意しながら電話対応や職員間での共有を行っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	2	年に1度発表会があり、保護者様のご家族その他知り合いや、関係機関(相談支援員・学校)を招待をしています。	全体に周知出来るように体制を整えていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	1	入社時と契約時にマニュアル内容の説明を行っています。	新入社員においては、入社時に、策定された対応マニュアルを周知していますが、内容変更があった場合や周知徹底をしていくためにも、定期的な確認を適宜行うよう努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	1	半年に1回、避難訓練を行っています。	新入社員においては、避難経路、訓練内容等、定期的な訓練の流れを把握できるよう、訓練時期前までには周知徹底していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	1	現在、対象利用児童がいません。	身体拘束等の適正化のための指針と委員会の周知方法を検討します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	0	契約時に確認を行っています。	全体に周知出来るように体制を整えています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0		